

ピジョン(7956)



－ 上方修正ながら株価が急落した本当の理由は －

7日に3割近い営業増益の中間決算と、通期の営業利益を従来の139億円から150億円へと上方修正した業績予想を発表したピジョンの株価は8日に13%安と急落しました。上方修正にも関わらず株価が急落した理由としては、中国の8月の貿易統計で輸入が二桁減少し、中国の景気減速懸念が一段と強まり日経平均が大きく下落するなかで、上方修正が市場のコンセンサスに届かなかったことが失望されたとの解説もあります。

しかし、本当の理由は第3四半期(8-10月期)に中国で在庫調整が必要となったことで、ピジョンの成長をこれまでけん引してきた中国での販売に陰りが出始めたのではとの懸念が出たためだといえます。ピジョンの説明では、中国の在庫が正常な水準から3割程度多く、これを解消するために在庫調整が必要で、中国での現地通貨ベースでの今期の販売計画もこれまでの前期比14%増から8%増へと下方修正しています。

在庫が過剰となった主な理由としてピジョンでは市場の変化を挙げています。ECサイトで商品を購入する消費者が増えるなか、母乳パッドなどの消耗品を中心に現地の安い製品が売り上げを伸ばし、ピジョン製品の店舗での販売が落ちたとしています。特に6月から売り上げが急速に落ちたことで、これが中国で株価が急落した時期と重なるだけに、株価低迷による購買力低下といった連想が働きます。

ピジョンは2010年にも中国で過剰在庫となり2011年1月期は減益決算となりました。今回は2010年とは違って過剰在庫に気づくのも早く、対策も打つので在庫調整が終わる第4四半期には好調だった上期並みの状況に戻るとピジョンではみています。しかし、消耗品だけでなく哺乳瓶などでも在庫が積み上がっているようで、落ち込みが一時的なもので終わるのかは不透明だといえます。第4四半期以降の販売状況を確認する必要があります。

ご留意いただきたい事項

マネックス証券(以下当社)は、本レポートの内容につきその正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。当社が有価証券の価格の上昇又は下落について断定的判断を提供することはありません。

本レポートに掲載される内容は、コメント執筆時における筆者の見解・予測であり、当社の意見や予測をあらわすものではありません。また、提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。

当画面でご案内している内容は、当社でお取扱している商品・サービス等に関連する場合がありますが、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

当社でお取引いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。お取引いただく各商品等には価格の変動・金利の変動・為替の変動等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。信用取引、先物・オプション取引、外国為替証拠金取引をご利用いただく場合は、所定の保証金・証拠金をあらかじめいただく場合がございます。これらの取引には差し入れた保証金・証拠金(当初元本)を上回る損失が生じるおそれがあります。

なお、各商品毎の手数料等およびリスクなどの重要事項については、[「リスク・手数料などの重要事項に関する説明」](#)をよくお読みいただき、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身のご判断で行ってください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会